まちわのだい

過去最大のジャンボ晩白柚、ギネス申請へ
―食と農の祭典「ライフフェスタ」―

八代地域の農林水産物を一堂に集めた、第五回やつしろライフフェスタが、二月五日・六日に行われ、会場のやつしろハーモニーホールは多くの人出で賑わいました。

これは、地元の農林水産物を地元の人にも知ってもらい、食と農を見つめなおす機会にしてもらおうと始められたもので、会場では野菜やイグサ、加工食品の実演販売などがありました。

▲ギネス申請をすることになったジャンボ晩白柚

また、同会場で行われた八代市果実品評会では、ジャンボ晩白柚の部で四八五〇グラムという過去最大の晩白柚が出品されました。出品者の園田清治さん（川田町東）は「ギネスブック登録のための申請手続きをしたい。登録されることで八代の果樹振興に繋げたい」と語りました。

俵かつぎ大会で40kgの米俵に悪戦苦闘▶

百歳おめでとうございます
―長寿祝い―

徳永センさん（古城町）が一月二十九日、百歳の誕生日を迎えました。

センさんは、畑仕事やドライブが好きで、身だしなみにも気を使うおしゃれなおばあちゃんです。また、食事は好き嫌いなく何でも食べ、特に甘いものに目がないそうです。

二階の自分の部屋まで階段を上り下りするなど、足腰も丈夫です。

昨年十一月に体調を崩し、入院しましたが、今は順調に回復して退院に向けてリハビリしています。

人と会って話をするのが長生きの秘訣だというセンさんは、百歳のお祝いの花束を「ずっと持っていたい」と、とても喜んでいました。

才荷（さいか）ヤノさん（二見洲口町）が二月一日、百歳の誕生日を迎えました。

ヤノさんは、数年前までは、毎日晩酌をしたり、大好物の桃を一度に三個も食べたりしたそうですが、今は、健康を考えて何でも少しずつ食べるようになりました。

体調も良く、「みんなが出かけるときは、留守番をしてくれるので助かります」と、家族に喜ばれています。テレビを見るのが好きで、タレントの名前も良く覚えているそうです。

家族から百歳のお祝いの言葉をかけられると「ありがとう」と、答えていました。

徳永實雄（じつお）さん（郡築三）が二月五日、百歳の誕生日を迎えました。

現在、老人保健施設「とまと」に入所している徳永さんは、健康に関する本を読んだり、ウォーキングなどをして健康に気をつけているそうです。

施設で出された食事は、好き嫌いなく何でも食べ、特に甘いものには目がなく、飲み物もジュースが好きだそうです。また、音楽の時間を楽しみにしており、タンバリンやマラカスを振ったりして参加するそうです。職員が何かお世話すると、必ずお礼の言葉を忘れない模範的なおじいちゃんです。

この日、施設の職員や遠くは大阪から駆けつけた親族からのお祝いに、とても感謝していました。

仕事と家庭どっちも大事
―いっそDEフェスタ2005―

一月三十日、やつしろハーモニーホールで「いっそDEフェスタ2005」が開催されました。これは、同実行委員会と八代市が男女共同参画社会への理解を深めてもらおうと、平成十二年から八代市男女共同参画週間制定記念イベントとして毎年開催しているものです。

第一部の講演会では、数学者であり、大道芸人でもあるピーター・フランクルさんが、講演の途中で得意のジャグリングを披露するなど、巧みな話術と大道芸で満員の観客を大いに魅了しました。

また、第二部では、市民参加の公開座談会があり、五人のパネラーは、日本の主婦の大変さや仕事と家庭の両立の難しさなどについて、活発な意見交換を行いました。

介護について述べるパネラー▼

百年後の世代に繋げていきたい
―郡築校区汐止め一〇一周年記念祭―

▲古城郡長の墓前に手を合わせる邑田郡築総社教会長

二月九日、郡築校区汐止め一〇一周年の記念祭が行われました。

小雨の降る中、郡築干拓に尽力した古城郡長（こじょう）の墓前祭には、約八十人が出席。邑田（むらた）照男郡築校区総社教会長は、「干拓整備に全力を注いだ先祖のおかげで今の郡築がある。先祖に感謝し、これから百年後の世代へ繋げていきたい」と挨拶しました。

その後、農産物の豊作を祈願する汐止め記念祭や農産物品評会、小中学校・幼稚園・保育園作品展なども行われ、展示会場の郡築公民館は多くの人で賑わいました。

また、この日は、約二年をかけて編纂された「郡築百年史」の編集者である岩本 税（ちから）さん、内田敬介さんに感謝状が贈られました。

夢と笑顔の交流会
―平成十六年度八養フェスタ―

二月五日、八代養護学校で「笑顔い～っぱい 夢い～っぱい」をスローガンに平成十六年度八養フェスタが催されました。これは、養護学校の児童・生徒が家庭や交流校、地域の人たちとふれあう場として毎年行われています。

オープニングでは、熊本チアリーダーズ「ドリームス」の元気いっぱいのチアリーディングで、会場は一気に盛り上がり、その後、小学部・中学部および高等部による学習発表がありました。

昨年四月に新設された高等部の発表では、体験学習や学校生活など、いきいきとした教育活動がスライドを交えて紹介されました。

また、友情出演されたむたゆうじさんのミニミニコンサートでは、「翼をください」を生徒たちも一緒に歌ったりしながら、楽しいひと時を過ごしました。

▲むたゆうじさんの歌声に会場は和やかな雰囲気に

八千把校区が十六年ぶりの優勝
―第五十二回八代市校区対抗駅伝競走―

▲タスキを受け取る八千把校区上嵜選手（三区）

一月二十三日、県営八代運動公園陸上競技場をスタート、ゴールとする市内十区間、三〇・七キロメートルのコースで、第五十二回八代市校区対抗駅伝競走が行われ、八千把校区が優勝を勝ち取りました。

開会式では、さわやかな青空の下、昨年優勝した日奈久校区の高橋龍也選手（日奈久中）が、「一本のたすきにみんなの思いを込め、優勝を胸に走りぬきます」と選手宣誓をしました。

市内十五校区（十四チーム）が健脚を競い、優勝した八千把校区は、二位の日奈久校区に一分以上の差をつける快走を見せました。